

平成 31 年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査【本校の概要】

1. 国語

本校の概要	今回の調査における本校の課題	改善の方向
【領域】 □「話すこと・聞くこと」について 全国平均に比べて下回っています。 □「書くこと」について 全国平均に比べて下回っています。 □「読むこと」について 全国平均に比べて下回っています。 □「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について 全国平均に比べて下回っています。	●目的に応じて、質問を工夫する。 ●情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えること。 ●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。 ●漢字を文の中で正しく使うこと。 ●ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること。	○どのような情報を聞き出したいのかという目的をはっきりさせたり、児童の知りたいという思いを大切にしたりしながら、インタビュー活動などに取り組みます。 ○相手への伝わりやすさ、適切な記述の仕方を考えながら書くように習慣付けていきます。 ○自分の知識や経験、考えなどと関係付けながら読み、必要な情報を取捨選択したり整理したり再構築したりして、理解したことをまとめるようにしていきます。 ○自分が書いた文章を見直す中で、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得するようにします。

2. 算数

本校の概要	今回の調査における本校の課題	改善の方向
【領域】 □「数と計算」について 全国平均に比べて下回っています。 □「量と測定」について 全国平均に比べて下回っています。 □「図形」について 全国平均に比べて下回っています。 □「数量関係」について 全国平均に比べて下回っています。	●示された除法の式の意味を理解することや除法に関して成り立つ性質を記述できること。 ●図形の性質や構成要素に着目し、基本的な平面図形を組み合わせて構成した図形を考察することができること。 ●資料の特徴や傾向に関連付けて、一人あたりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できること。	○除法の式などがそれぞれ何を求める式なのかを、具体物や図、数直線などを用いて考える活動を通して、式と具体的な場面とを関連付け、式の意味についての理解を深めていきます。 ○色板などの具体物を操作しながら図形を構成したり分解したりして、図形についての見方や考え方を豊かにしていきます。 ○目的に応じて必要な資料を収集し、複数の資料の特徴や傾向を関連付け、一つの資料からは判断できない事柄について判断することができるようにします。

3. 児童質問紙調査における本校の傾向

全国と比較し、肯定的な回答が多かった質問

- ・朝食を毎日食べている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・自分には、よいところがあると思う。
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ・学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある。
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ・学校のきまりを守っている。
- ・読書は好きです。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。
- ・学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている

全国と比較し、肯定的な回答が少なかったもの

- ・家で自分で計画を立てて勉強している。
- ・今住んでいる地域の行事に参加している。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。

この結果から、基本的な生活習慣がしっかりと身に付いていることが分かります。学習に対しても意欲的に取り組んでいます。また、成功体験を積み重ね、自己肯定感が高い子が多くいます。一方、計画を立てて取り組むことや地域のことを考えたり、地域の行事に参加したりする子が多くはないようです。

学習での課題や目標、行事などの活動での目標をしっかりともてるように関わり、今後も子ども自身が計画的に活動を進めるようにします。そのために、子どもたちが活動を振り返る場面を設けたり、教師が子どもたちの取組に対して価値付けたりしながら、個々が自身の取組における成果を自覚できるようにしていきます。また、閉校に関わる活動を通し、地域の方にも支えられていることを再認識できるように関わっていきます。